

## VI 学 校 教 育

### 1 令和2年度三島市の学校教育

#### (1) 令和2年度の基本方針

<b>三島市学校教育振興基本計画</b> ～三島のせせらぎのような「清らかさ」 箱根の大地のような「たくましさ」～				
<b>スローガン</b> 3Y・M「豊かで 行き届いた 夢のある教育を実現するまち 三島」				
<b>基本理念</b> 「豊かな感性と確かな学力を持つ、心身ともに健康な子どもの育成」				
<b>目標</b>	<table border="1"> <tr> <td> <b>思いやる心</b>            ・人の心の痛みをわかろうとする思いやりのある子            ・正しい判断力を持ち、その思いに沿った行動ができる子         </td> </tr> <tr> <td> <b>学ぶ力</b>            ・学ぶことに意欲を持つ子            ・自分の将来の夢を描くことができる子            ※「学ぶ力」とは：自ら課題を発見し、思考・判断・表現しながら問題を解決していく資質や能力のこと         </td> </tr> <tr> <td> <b>健やかな心身</b>            ・心身ともに健康で、たくましく生きる子         </td> </tr> </table>	<b>思いやる心</b> ・人の心の痛みをわかろうとする思いやりのある子 ・正しい判断力を持ち、その思いに沿った行動ができる子	<b>学ぶ力</b> ・学ぶことに意欲を持つ子 ・自分の将来の夢を描くことができる子 ※「学ぶ力」とは：自ら課題を発見し、思考・判断・表現しながら問題を解決していく資質や能力のこと	<b>健やかな心身</b> ・心身ともに健康で、たくましく生きる子
<b>思いやる心</b> ・人の心の痛みをわかろうとする思いやりのある子 ・正しい判断力を持ち、その思いに沿った行動ができる子				
<b>学ぶ力</b> ・学ぶことに意欲を持つ子 ・自分の将来の夢を描くことができる子 ※「学ぶ力」とは：自ら課題を発見し、思考・判断・表現しながら問題を解決していく資質や能力のこと				
<b>健やかな心身</b> ・心身ともに健康で、たくましく生きる子				

令和2年度については、平成25年3月に策定した三島市学校教育振興基本計画に基づき、平成30年度から令和4年度の後期5か年行動計画に沿って、引き続き、基本方針2-1「心の教育」を柱として推進するとともに、基本方針2-2「確かな学力の育成」、2-3「生徒指導・特別支援教育の充実」、2-5「健やかな体の育成」、3-2「命を守る学校環境づくり」を重点として推進していく。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本方針2-1：「心の教育の推進」</li> <li>○基本方針2-2：「確かな学力の育成」</li> <li>○基本方針2-3：「生徒指導・特別支援教育の充実」</li> <li>○基本方針2-5：「健やかな体の育成」</li> <li>○基本方針3-2：「命を守る学校環境づくり」</li> </ul> |
|---|

これまでの学校評価において、「学校が楽しい」「学校行事が充実している」の項目は評

価が高いことから、学校への満足度は高いと考えられる。そのため、引き続き後期5か年行動計画を推進していく。

特に、小学校においては、新学習指導要領完全実施となるため、外国語科・外国語教育の充実、プログラミング教育を確実に進めていく。中学校では、新学習指導要領実施に向け、事例研究等について実践を重ねていく。

さらに、小中学校ともに、これまでも課題であった不登校児童生徒への対応、特別支援教育対象児童生徒への対応、ICTの有効活用等への適切な対応、経験豊富な教員から次世代に学級経営や授業実践などの教師力を引き継いでいくことなど、引き続き重点的に取り組んでいく。

以上から、次の方針内容を実施する。

## (2) 方針内容及び主な取組

### ア 方針内容 2-1-1：「豊かな感性の育成」

道徳教育をはじめ、自然の神秘や生命の尊さ、将来の夢、感謝する気持ちなどを心に深く感じ取る、いわゆる「豊かな感性」を育む施策を展開する。そのために、三島市独自の環境教育（そよかぜ学習）、キャリア教育（小・中）、食育、防災教育、プログラミング教育を実施していく。また、「オリ・パラ」学習に取り組むことを通じて、「オリ・パラ」の機会を活用した異なる国籍や文化との交流を通じた多様性を育む教育を充実させていく。

### イ 方針内容 2-2-1：「基礎・基本の定着と知識・技能の活用」

「市指導主事訪問」「教育研究指定事業」「学校支援員配置事業」「教職員研修」を充実していく。そのため、三島市教科等指導リーダー研修、学力高上研修会の継続、市指導主事訪問（要請訪問等）を実施し、教員のさらなる授業力向上を図る。また、新学習指導要領において重視している「主体的・対話的で深い学び」や「指導と評価の一体化」についての研究を各校とともに深める。

さらに、GIGAスクールに向け、電子黒板、情報機器等のICTを活用した学習活動の充実を図る。

### ウ 方針内容 2-3-2：「不登校ゼロ、いじめ解消率100%」

未然防止・早期対応に力を入れていく。また「いじめ・不登校対策事業」やスクールカウンセラー等を活用するとともに、人権教育を意識した生徒指導体制を構築し、特に、市や学校のいじめ防止基本方針をもとに、学校が、家庭、地域と一層の連携を図っていく。

### エ 方針内容 2-3-1：「個に適した支援体制」

特別支援教育コーディネーターが機能する特別支援教育体制を整えるとともに、ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくりを推進する。また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を正しく理解するとともに、個別の教育支援計画を作成したり、合理的配慮について合意形成したりするなど、支援内容の充実を図る。

スクールソーシャルワーカーの学校派遣や青少年相談室相談員・ふれあい教室指導員による学校訪問を推進し、学校、家

庭のバックアップ体制を構築していく。

### オ 方針内容 3-2-2：「安全教育の推進」

三島市独自の防災教育推進委員会を開催するとともに、三島版防災教育指導案の活用を推進する。また、災害発生後の早期学校機能回復をめざした「応急教育」の推進、地域の防災活動（防災訓練、イザ！カエルキャラバン！など）に子どもたちが積極的に参加できるような働きかけを三島市PTA連絡協議会とも協力しながら推進していく。また、各学校「命を考える日」を設定し、防災教育の一層の推進に取り組む。

### カ 方針内容 2-2-2：「授業を大切にす環境」

校務支援システムやICT機器、学校支援地域本部を有効に活用していく。また学校における働き方改革（三島市立学校働き改革プラン）を推進し、教員が子どもとふれ合う時間の確保と、教職員が意欲をもって職務に取り組むための環境づくりを推進していく。さらに、社会に開かれた教育課程編成についての研究をしていく。

### キ 方針内容 2-5-1：「日本型食生活に即した給食」

地場産物の生産者との連携をさらに深め、安心・安全な地場産物を使用し米飯給食を通して健やかな体の育成をめざしていく。

### ク 方針内容 2-5-3：「健康を意識できる子どもの育成」

新体力テストの結果を踏まえながら、体育・保健体育の授業をさらに充実していく。また、自分の目標に向かって取り組むことができる体力づくり活動を推進していく。

### ケ 方針内容 2-1-3：「美しい学校環境づくり」

学校花壇等の整備を図るなどして、花があふれる潤いのある校地にしていく。また、各種花壇コンクールに参加することで、美しく魅力的な学校環境づくり、いわゆる「花育」を推進していく。

### コ 幼稚園関係：方針内容 1-1-1：「教職員の資質向上」

これらに対応するために、幼稚園職員研修の充実に取り組んでいく。

## (3) 事業計画

### ア 事業内容

#### (7) 教育研究指定

【令和元～2年度三島市教育委員会指定】

### 三島市立徳倉幼稚園

遊んで食べておおきなあれ  
～しなやかな心と体を育むために～

### 三島市立西小学校

地域とかかわり未来をひらく西の子の  
育成～「たい」と「あい」のある授業づ  
くりを通じた深い学びの実現～

### 三島市立錦田中学校

他者と関わり、夢や目標に向かって主体  
的に取り組む生徒の育成  
～キャリア教育の推進～

【令和2～3年度三島市教育委員会指定】

### 三島市立松本幼稚園

### 三島市立向山小学校

### 三島市立中郷中学校

- (イ) 教育研究奨励事業
  - (ウ) 教職員研修
  - (エ) 学校支援員配置事業（市単 57 人）
  - (オ) 特別支援学級嘱託講師配置事業  
（市単 15 人）
  - (カ) 通級指導教室支援員配置事業（市単 3 人）
  - (キ) 特別支援教育推進事業（巡回相談等）
  - (ク) 不登校対策事業（ふれあい教室）
  - (ケ) いじめ防止対策推進事業
  - (コ) スクールソーシャルワーカー  
（市単 2 人）
  - (サ) 外国語指導助手招致事業  
（市単 A L T 7 人）
  - (シ) 小学校英語活動推進事業  
（市単 A L T 3 人）
  - (ス) 学校図書館振興事業（市単 21 人）
  - (セ) 中学校通級指導教室実施事業  
（指導員 1 人、支援員 1 人）
  - (ソ) 小学校巡回音楽会
  - (タ) 防災教育推進事業（イザ！カエルキャラ  
バン！）
  - (チ) 通学区域の審議
  - (ツ) 部活動振興事業
  - (テ) 学校給食管理運営事業
  - (ト) 米飯給食実施調理員推進事業  
（市単 9 人）
  - (ナ) 学校保健事業
  - (ニ) 小学校交流事業
  - (ヌ) 子ども英語講座
  - (ネ) 新学習指導要領対応事業
- イ 学校訪問
- (ア) 指導主事が要請を受けて各小中学校を  
訪問し、教員のさらなる授業力向上をめ  
ざして、指導及び助言にあたる。
  - (イ) 指導主事が静東教育事務所地域支援課

と連携して、各小中学校を訪問し、教員  
の指導力向上に向けた指導及び助言に  
あたる。

- (ウ) 初任者及び4年目教員等若手教員の指  
導力向上を図るために、指導主事が関  
係小学校を訪問し、指導及び助言にあ  
たる。
- (エ) 生徒指導上の重大な問題が発生した場  
合、もしくは発展的な問題が発生した場  
合、指導主事が必要に応じて学校を訪問  
し、生徒指導の実態把握と指導及び助言  
にあたる。
- (オ) 就学支援、特別支援教育の一層の充実  
を図るため、指導主事が必要に応じて、  
各幼稚園、小中学校を訪問し、対象幼児、  
児童生徒の実態把握と指導及び助言に  
あたる。

### ウ 主な助成

- (ア) 三島市教育研究会
- (イ) 三島市学校保健会
- (ウ) 三島市学校保健研究会
- (エ) 三島市学校給食会
- (オ) 三島市中学校体育連盟
- (カ) 静岡県中学校文化連盟
- (キ) 三島市中学校部活動振興会
- (ク) 三島市小中学校生徒指導連絡会
- (ケ) 三島市特別支援教育研究会

### エ 会議及び研修会

- (ア) [各種管理職会議]
  - ・校長会議 毎月第1水曜日 年11回
  - ・教頭会議 毎月第1金曜日 年10回
  - ・園長会議 毎月第1木曜日 年10回
  - ・学校経営研修会 夏季休業中1回
- (イ) [各種主任会]
  - ・幼稚園主任教諭研修会 年7回
  - ・主幹教諭、教務主任研修会 年2回
- (ウ) [教育課程関係]
  - ・教育課程検討委員会 随時
- (エ) [生徒指導関係]
  - ・生徒指導主任・主事研修会 年1回
  - ・三島市生徒指導四者会 年4回
  - ・三島市不登校児等担当者会 年4回
  - ・三島市不登校児等個別相談会 随時
  - ・三島市問題行動等担当者会 年3回
  - ・三島市いじめ問題対策連絡協議会 年4  
回
  - ・学校と警察の児童生徒健全育成に関する  
連絡会 月1回
  - ・三島市スクールガード全体会 年1回
  - ・三島市いじめ問題対策委員会 年1回及

- び随時
- ・三島市不登校対策連絡会 年3回
- ・三島市SC・SSW連絡会 年1回
- (オ) [特別支援教育関係]
- ・三島市就学支援委員会 年4回
- ・三島市就学支援専門調査委員会 年4回
- ・特別支援教育コーディネーター研修会 年3回(内1回は、就学支援担当者研修会を兼ねる)
- ・特別支援教育専門家チーム会議 年3回
- ・通級指導教室担当者合同会議 年2回
- ・特別支援学級担当者合同会議 年1回
- ・就学支援担当者研修会 年1回
- (カ) [学習指導関係]
- ・三島市教科等指導リーダー研修会 年4回
- ・全国学力・学習状況調査分析委員会 年3回
- ・学力高上研修会 年2回
- (キ) [防災関係]
- ・防災教育推進委員会 年1回(随時)
- (ク) [情報教育関係]
- ・情報教育推進委員会(プログラミング教育研修)年1回(随時)
- ・事務部会、保健室システム部会、校務支援システム部会 随時
- (ケ) [研修関係]
- ・スキルアップ研修 8月
- ・初任者研修 年4回(市教委主催分)
- ・2年次研修(幼稚園研修・異校種研修)年2回
- ・中堅教諭等資質向上研修 年3回(異校種及び社会体験)
- ・三島市教員力継承事業 4年目教員への学校訪問
- ・各種支援員等研修会 年3回
- ・学校司書研修会 年4回
- ・ALT研修会 月3回程度
- (コ) [幼稚園関係]
- ・幼保園長主任合同研修会 年2回
- ・ステップアップ研修(3年目～5年目の教員、異校種・公開保育)年3回
- ・幼稚園マネージメント研修会 年2回
- ・園児事故初期対応研修 年1回
- (サ) [給食関係]
- ・給食主任研修会 年1回
- ・栄養教諭・栄養士研修会 月1回
- ・調理員研修会 年3回
- ・調理講習会 年1回
- ・衛生管理研修会 年3回

- ・衛生管理研究会 17か所
- ・学校給食残食検討委員会 年2回
- (シ) [その他]
- ・養護教諭研修会 年8回
- ・キャリア教育担当者会 年1回(小学校・中学校)
- ・中学校部活動外部指導者研修会 年1回
- ・幼保小中連携教育推進委員会 年1回
- ・通学区域審議会 随時
- ・学校運営執務検討会議 年1回及び随時

## 2 遠藤奨学金について

「遠藤奨学基金」は三島市大社町出身、東京都中央区入船町1-1、鋼鉄・機械問屋遠藤頭吾商店の代表者遠藤頭吾氏が、故郷の恵まれない子供たちに少しでも温かい手をと、昭和36年に東京銀行株式18,000株、東京瓦斯株式15,000株、東京電力株式2,700株を市に寄付された。市はこれによって「遠藤奨学基金設置条例」を設けた。

この株の配当金を原資として、市は昭和37年度から「遠藤奨学会」に交付し、奨学会から市内小中学校の児童、生徒に学用品及び給食費、修学旅行費等の援助を行っている。

基金とされる株式はその後数回増資され、その都度遠藤氏から寄付を受け取得してきたが現在の持株、令和元年度配当金は次のとおりである。(令和2年3月31日現在)

	株式数	R1配当額
東京瓦斯株	7,030株	439,375円
株三菱UFJ フィナンシャル・グループ	32,250株	757,875円
その他(寄附金)		102,406円
運用利子		344円
合 計	39,280株	1,300,000円

奨学金の交付は、はじめ小学校のみを対象にしていたが、昭和39年から中学校も対象に交付するようになり、今日に至っている。令和元年度は小学生延べ89人、中学生延べ64人、計延べ153人に1,300,000円を交付した。また、平成23年度以降、東日本大震災の影響により、東京電力株の無配当が続いており(平成29年7月に東電株売却)、子供たちへの継続的な支援を行うため、平成24年度より遠藤奨学会への寄付をお願いしている。

### 3 令和元年度就学免除・猶予・死亡児童生徒数

	小学校	中学校	合計
就学免除	0	0	0
就学猶予	0	0	0
死亡	0	0	0
計	0	0	0

### 4 令和元年度転入・転出児童生徒数

校名 区分		小 学 校														
		東小	西小	南小	北小	錦田小	徳倉小	坂小	佐野小	中郷小	沢地小	向山小	北上小	山田小	長伏小	計
市内	転入	3	1	2	4	7	2	0	1	2	2	0	2	2	0	28
	転出	0	3	1	1	2	4	6	0	5	0	5	1	4	1	33
市外	転入	9	2	4	13	8	3	2	0	3	2	5	11	9	2	73
	転出	3	4	5	14	4	2	3	3	3	5	6	12	5	3	72
国外	転入(編入)	1	0	1	1	2	0	0	2	0	0	3	1	0	0	11
	転出(退学)	0	0	0	0	3	0	2	1	0	0	0	1	2	0	9
その他	転入	0	0	1	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7
	転出	0	0	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	7

校名 区分		中 学 校								小中学校合計
		錦田中	南中	北中	中郷中	北上中	中郷西中	山田中	計	
市内	転入	0	0	1	2	0	0	0	3	31
	転出	1	0	0	0	0	0	2	3	36
市外	転入	2	3	2	0	1	0	1	9	82
	転出	3	1	1	2	4	0	2	13	85
国外	転入(編入)	0	1	2	0	2	1	0	6	17
	転出(退学)	1	0	1	0	0	0	1	3	12
その他	転入	0	1	2	1	0	0	0	4	11
	転出	0	0	0	1	0	0	0	1	8

注 「その他」とは、私立小中学校、特別支援学校へ転出、転入したものの数を計上した。

### 5 令和元年度中学校卒業生の進路

		錦田中	南中	北中	中郷中	北上中	中郷西中	山田中	計	
進学者	全日制	計	125	166	177	72	145	111	884	
	定時制	計	2	5	12	0	4	2	27	
	通信制	計	0	3	3	1	1	0	9	
	その他	計	0	12	8	1	3	2	4	30
	合計	計	127	186	200	74	153	115	95	950
その他	計	3	2	3	0	3	4	0	15	
合計	計	130	188	203	74	156	119	95	965	
比率	進学者	97.7%	98.9%	98.5%	100.0%	98.1%	96.6%	100.0%	98.4%	
	その他	2.3%	1.1%	1.5%	0.0%	1.9%	3.4%	0.0%	1.6%	

注 進学者のうち、「その他」とは高等学校(別科)、高等専門学校、特別支援教育諸学校高等部等へ進学したものの数を計上した。

## 6 令和元年度就学奨励援助

種 別	小学校		中学校		合計		
	人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
要保護及準要保護 交付実績	307	20,627,984	224	26,612,566	531	47,240,550	
内 訳	学用品費	307	3,998,078	219	5,411,058	526	9,409,136
	校外活動費						
	新入学児童 生徒学用品費	35	959,000	61	1,084,000	96	2,043,000
	新入学準備金	11	556,600	62	3,558,800	73	4,115,400
	給 食 費	306	13,399,449	218	11,467,829	524	24,867,278
	修学旅行費	61	1,428,897	74	4,634,824	135	6,063,721
	通 学 費	1	10,800	4	144,630	5	155,430
めがね購入費	18	275,160	18	311,425	36	586,585	
特別支援教育	97	2,646,886	49	1,812,021	146	4,458,907	
遠藤奨学金 (延べ)	89	780,000	64	520,000	153	1,300,000	

## 7 令和元年度日本スポーツ振興センター掛金及び給付金

		掛 金				給 付 金	
		人員(人)	保護者負担金(円)	市負担金(円)	計(円)	人員(人)	金額(円)
小学校	一 般	5,470	2,570,900	2,543,580	5,114,480	475	733,995
	要・準	325	-	249,335	249,335		
	計	5,795	2,570,900	2,792,915	5,363,815		
中学校	一 般	2,660	1,250,200	1,236,900	2,487,100	372	1,476,140
	要・準	232	-	186,090	186,090		
	計	2,892	1,250,200	1,422,990	2,673,190		
幼稚園	一 般	702	133,380	66,850	200,230	14	12,516
合計	一 般	8,832	3,954,480	3,847,330	7,801,810	861	2,222,651
	要・準	557	-	435,425	435,425		
	計	9,389	3,954,480	4,282,755	8,237,235		

## 8 学校給食

三島市の学校給食は、昭和 22 年、小学校 4 校で副食給食を開始した時から始まり、昭和 26 年から順次完全給食へ移行しました。

平成 14 年 4 月 11 日、市内 3 箇所建設した「中学校間 自校・親子方式」による共同調理場が運転を開始し、小学校 14 校が単独直営方式、中学校 7 校が民間委託による共同調理場方式で完全給食を実施しています。

平成 22 年度からは完全米飯給食を行い、さらに、小学校においては平成 22 年 11 月より全校で自校炊飯を実施しています。また、地産地消をすすめ、地場産品の使用は令和元年度食材ベースで 44%と高い使用率です。

### (1) 実施状況

#### 単独調理場

令和 2 年 5 月 1 日現在

施設名称	位置	給食室面積 (㎡)	対象児童数 (人)	給食回数 (回)	栄養教諭 栄養士
東小学校	東町 10 番 1 号	208	385	194	1(県)栄養士
西小学校	緑町 7 番 7 号	256	373	193	1(県)栄養士
南小学校	富田町 6 番 1 号	245	574	193	1(県)栄養士
北小学校	文教町 1 丁目 4 番 8 号	632	755	194	1(県)栄養教諭
錦田小学校	谷田 966 番地	498	538	193	1(県)栄養士
徳倉小学校	徳倉 4 丁目 1 番 45 号	129	421	194	1(県)栄養士
坂小学校	市山新田 163 番地の 2	98	74	194	1
佐野小学校	佐野 238 番地	235	184	194	1
中郷小学校	梅名 453 番地	186	383	193	1
沢地小学校	沢地 127 番地の 1	178	273	195	1
向山小学校	谷田 1946 番地	214	563	194	1(県)栄養教諭
北上小学校	徳倉 844 番地の 1	212	349	190	1
山田小学校	川原ヶ谷 812 番地	201	440	192	1
長伏小学校	長伏 226 番地の 5	215	324	194	1
合 計			5,636	—	14

※給食回数は令和 2 年 4 月 1 日現在

#### 共同調理場

令和 2 年 5 月 1 日現在

施設名称	位置	給食室面積 (㎡)	対象校	対象生徒数 (人)	給食回数 (回)	栄養教諭 栄養士
錦田学校給食 共同調理場	谷田 1505 番地	532	錦田中	442	180	1(県) 栄養士
			山田中	272	182	
北学校給食 共同調理場	文教町 2 丁目 32 番 60 号	532	北 中	609	180	1(県) 栄養教諭
			北上中	483	181	
中郷西学校給食 共同調理場	梅名 854 番地の 1	532	中郷西中	345	180	1(県) 栄養教諭
			南 中	539	181	
			中郷中	207	180	
合 計				2,897	—	3

※給食回数は令和 2 年 4 月 1 日現在

## (2) 給食費

小学校 1食 290円

中学校 1食 345円

## (3) 給食内容

区分	小学生	中学校
主食	米飯	週 5.0 回
	パン	お楽しみのに年間 11 回程度
	麺	お楽しみのに年間 11 回程度
牛乳	毎日 1 本 200cc	
副食	文部科学省の学校給食実施基準に基づき学校栄養職員が献立を作成	
デザート	果物・乳製品ほか 随時	

## (4) 児童・生徒 1 人 1 食当たり栄養摂取状況

令和元年度

区分	単位	小学校		中学校	
		基準量	年間摂取量	基準量	年間摂取量
エネルギー	kcal	650	619	830	810
蛋白質	g	26.8	24.5	34.3	30.0
脂質	g	18.1	20.0	23.1	24.6
ナトリウム (食塩相当量)	mg (g)	787 (2.5 以下)	951	984 (3 以下)	1,215
カルシウム	mg	350	366	450	392
鉄	mg	3	2.9	4	3.3
ビタミンA	$\mu$ gRE	200	204	300	252
ビタミンB1	mg	0.40	0.62	0.50	0.81
ビタミンB2	mg	0.40	0.56	0.60	0.65
ビタミンC	mg	20	34	30	40
マグネシウム	mg	50	98	120	112
亜鉛	mg	2.0	2.9	3.0	3.7
食物繊維	g	5.0	4.9	6.5	5.7